

国保ヘルスアップモデル事業(三豊地区)

—指定市町村概況票—

1. 概況(平成16年4月1日現在)

総人口		80,005 人	国保被保険者数		31,154 人
	(うち40~64歳人口)	26,371 人		(うち40~64歳)	8,772 人
	(うち65歳以上人口)	20,185 人		(うち65歳以上)	14,525 人
	(うち75歳以上人口)	10,039 人		(うち75歳以上)	7,362 人

2. 市町村の健康に関する対応

	部署名		スタッフ状況(上段:常勤、下段:非常勤)			
			事務職員	保健師	栄養士	その他
関係機関 スタッフ状況	国民健康保険関連部署 (1市4町 所管課 計)		10 人	人	人	人
			人	人	人	人
	健康づくり部署 (1市4町 所管課 計)		11 人	22 人	1 人	人
			人	2 人	人	人
その他 ( 課)			人	人	人	人
			人	人	人	人
現在実施 しているヘル スアップモデ ル事業以外 の健康づく りに関する保 健事業	観音寺市 ・高血圧、高脂血症予防教室 ・骨の教室 ・操体法教室 ・国保1日人間ドック	山本町 ・機能訓練(ダンベル、ゴムチューブ、エアロビクス) ・健康講演会 ・健康相談 ・家庭訪問	大野原町 ・痛風尿酸検査 ・介護予防 ・生活習慣病予防	豊浜町 ・転倒予防教室(シニアエアロビクス) ・健康相談 ・健康度評価事業 ・個別健康教育 ・健康講演会 ・国保健康教室 ・1日人間ドック	財田町 ・痴呆予防講演会 ・痴呆予防教室 ・痴呆専門相談 ・いきいきリハビリ教室 ・さわやか運動教室 ・転倒予防教室 ・すこやか栄養教室 ・短期日帰り人間ドック	
市町村内の健康増進のための資源状況	あり 観音寺市 ・観音寺市保健センター	山本町 ・山本町保健センター	大野原町 ・大野原町いきいきセンター(保健センター)	豊浜町 ・母子保健センター ・トレーニングセンター	財田町 ・財田町総合運動公園 ・たからだの里「環の湯」	
健康増進計画の策定期期	観音寺市 15年3月策定、各町 未定					

3. 市町村の健康状況と課題		
基本健診	1) 受診者数 (平成 15 年 度実績)	対象者数: 27,319 人(うち国保被保険者数: 15,802 人) 受診者数: 12,249 人(うち国保被保険者数: 8,386 人)
	2) 基本健診 からみた課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三豊地区全体の受診率は、44.8%で比較的高い率である。しかし、各市町別にみると 33%から 86%までかなりばらつきがある。また、40 歳代、50 歳代の受診率が低い傾向にある。</li> <li>・受診結果からみると高脂血症、高血圧、血糖、心電図などで要指導、要医療者の占める割合が高い。この傾向は、壮年期にもみられる。</li> <li>・このことから、壮年期の受診向上に努めるほか、生活習慣の改善につながる事後指導が必要であり、検診結果を生かした保健事業が今後の課題となる。</li> </ul>
医療分析 からみた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三豊地区の各市町の医療費動向は、さまざまな問題を含んでおり、統一的な課題は、みえてこない。</li> <li>・観音寺市では、頻回・重複受診が県下で上位を占めている。外来では、一人当たり医療費は低いが、多日数受診しており、入院では、一日当たり入院医療費はあまり高くないが、一人当たり入院日数が多い。</li> <li>・山本町では、国保の一人当たり老人医療費が県下で7番目と高く、県平均・全国平均より高い。</li> <li>・大野原町は、対前年度比では、退職者等は微増しているが若人・老人・全体においても低下している。受診率についてもほぼ横ばいである。</li> <li>・豊浜町は、受診率、一件当たり診療費、一件当たり日数が県下の平均又はそれ以下であり医療費全体の課題はみえてこない。しかし、疾病状況からみると件数、医療費ともに高血圧(虚血性)が、最多であり件数は全体の 24%、医療費は 17%を占めている。また、糖尿病の件数、脳血管疾患の医療費は、ここ数年毎年10位以内にランクされており、ここでも生活習慣病の予防にいかに取り組みかが大きな課題である。</li> <li>・財田町では、高齢者の中に糖尿病、高血圧、高脂血症等、またその予備軍が多くいると考えられるため、生活習慣の改善に重点をおいた保健活動が必要である。</li> </ul>	
健康増進計 画等にかかる 実態調査 からみた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すこやか香川 21 ヘルスプランに示されている目標値を目指し、生活習慣を改善し、発症を予防するとともに健康診査受診による早期発見、早期治療に向け、個々の意識を高める予防教育等による「一次予防」の推進、定期的な健康診断の受診勧奨、健診後の事後指導の徹底など「二次予防」の強化が求められる。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の予防、介護予防のために、さまざまな事業を実施しているが、参加者が少なく、固定化しているのが現状である。住民の健康意識を向上させ、健康づくりを目指す人を増加させることが必要である。</li> </ul>	
全体的な 健康課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりは、一人ひとりが主体的に取り組むことが必要である。健康意識の高い人を核に、健康づくりの輪を広げていけるように支援することが一つの課題と考える。</li> <li>・一方で健康意識が低い人の把握及び健康意識向上のための働きかけを行うことも大きな課題となってくる。</li> </ul>	

国保ヘルスアップモデル事業  
—平成 15 年度実績報告調書 A 票—

1. 回答者	
氏名	香川県三豊地区（観音寺市、山本町、大野原町、豊浜町、財田町）
所属	代表保険者 豊浜町（健康福祉課）
連絡先	TEL( 0875-52-1204 ) FAX( 0875-52-3113 )
	E-mail( <a href="mailto:kenkou@town.toyohama.kagawa.jp">kenkou@town.toyohama.kagawa.jp</a> )

2. モデル事業の実施概要	
対象とする生活習慣病名	糖尿病、高血圧、高脂血症
対象とする生活習慣	食事のバランス:品目数(摂取カロリー)、運動:歩数(消費カロリー)
個別健康支援プログラムの種類	食生活の確立及び運動習慣の獲得支援プログラム

3. 事業実施体制											
実施主体	事業実施本部	実施本部長 三豊総合病院 管理者(大野原町 町長) 三豊総合病院 副管理者(観音寺市 市長) 三豊総合病院 副管理者(山本町 町長) 三豊総合病院 副管理者(豊浜町 町長) 三豊総合病院 副管理者(財田町 町長) 三豊総合病院 名誉院長 三豊総合病院 保健医療福祉管理者兼院長 三豊総合病院 代謝科 医長 観音寺市・三豊郡医師会 会長 観音寺市 健康増進課 課長 山本町 健康福祉課 課長 大野原町 福祉保健課 課長 大野原町 住民課 課長 豊浜町 健康福祉課 課長 財田町 福祉保健課 課長									
	実務者会議	チーフ 三豊総合病院 代謝科 医長 三豊総合病院 栄養管理科長 三豊総合病院 栄養士(2名) 三豊総合病院 看護師 三豊総合病院 保健師 三豊総合病院 地域医療部 主幹 香川県健康福祉部医務国保課 主任 観音寺市 健康増進課 課長、国保事務担当者、保健師 山本町 健康福祉課 課長、国保事務担当者、保健師 大野原町 福祉保健課 課長、保健師、栄養士 大野原町 住民課 課長、国保事務担当者 豊浜町 健康福祉課 課長、国保事務担当者、保健師 財田町 福祉保健課 課長、国保事務担当者、保健師									
	プログラムの実施に関わっている委託機関と委託内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>委託機関名</th> <th>委託内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三豊総合病院</td> <td>検査業務、指導及びデータ管理等</td> </tr> <tr> <td>株式会社UFJ総合研究所</td> <td>計画作成及び評価支援</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	委託機関名	委託内容	三豊総合病院	検査業務、指導及びデータ管理等	株式会社UFJ総合研究所	計画作成及び評価支援			
委託機関名	委託内容										
三豊総合病院	検査業務、指導及びデータ管理等										
株式会社UFJ総合研究所	計画作成及び評価支援										
評価主体											

<p>4. モデル事業実施にあたって実施を開始した保健事業</p>	
<p>『はだして浜歩き(健康づくりふる里探検ウォーク)』観音寺市                  対象者:希望者(幼児から高齢者まで)                  内 容:有明浜の粒子の小さな砂のできた波打ち際を、はだして歩く。年間3回開催                  ほかウォーキングプログラム 年間2回開催                  効 果:足ツボを刺激し、頭脳の活性化を促し、ボケ防止、皮膚・足の訓練、心のやすらぎを得る。</p>	
<p>『健康づくり教室』山本町                  対象者:希望者                  内 容:ダンベル体操・ゴムチューブ体操 毎月1回、エアロビ 毎月2回                  効 果:転倒予防のため筋肉トレーニング及び有酸素運動として行う。                  運動習慣を目指し動機付けを行い習慣としての確立を図る。</p>	
<p>『体力づくり事業(機能訓練事業)』大野原町                  対象者:基本健康診査の要指導者、国保ヘルスアップモデル事業の参加者                  内 容:健康運動器具を活用した体力づくり(火～日曜日、機能訓練室の開放) 開館日随時参加可能                  いきいき体操(ストレッチ体操)毎月1回                  評 価:年4回体力測定を実施し、効果判定を行う。                  積極的に運動に取り組むことで、検診結果の改善を図る</p>	
<p>『国保エアロビクス』豊浜町                  対象者:国保被保険者で、町の実施する基本健康診査の結果、高血圧・糖尿病・高脂血症など                  生活習慣で指導の必要性があると認められた40歳～69歳の方                  内 容:健康づくりのためのエアロビクス(毎月1回～2回)                  目標値:①体脂肪 -2～3% 基礎代謝量 +100kcal ②現状維持                  評価時期:一年後</p>	
<p>★介入群でプログラムに参加している人たちは、行政域を越えて参加可能としている。</p>	

<p>5. 医療費分析の実施状況</p>	
<p>医療費分析の実施の有無                  ※実施:○、実施せず:×</p>	<p>○</p>
<p>集計対象予定期間</p>	<p>介入スタート前1か年、介入年、介入後2か年(合計4か年分)</p>
<p>集計対象</p>	<p>介入群該当者、対照群該当者、放置群該当者及び国保加入者全体</p>
<p>集計内容</p>	<p>入院、入院外、調剤及び医科+調剤の1人当たり医療費、受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費</p>
<p>集計単位</p>	<p>各市町及び地区全体</p>
<p>集計実施状況</p>	<p>H14.5、H15.5 診療分について、国保連合会からレセプトデータを出してもらい介入群、対照群及び放置群で集計。なお各市町及び地区全体については、紙ベースの国保連合会の集計表による。</p>

国保ヘルスアップモデル事業  
 -平成 15 年度実績報告調書 B 票-

1. 個別健康支援プログラムの概要				
プログラムの実施期間	期	時期	期間	介入回数
	強介入期間 ※1 か月に 1 回以上の介入がある場合	15 年 5 月 ～ 15 年 11 月	6 ヶ月	集団 2 回 個別 5 回
	一般介入期間 ※1 か月に 1 回未満の介入がある場合	15 年 12 月 ～ 17 年 5 月	18 ヶ月	集団 3 回 個別 7 回 調理 1 回 運動 1 回
	合計	15 年 5 月 ～ 17 年 5 月	24 ヶ月	集団 5 回 個別 12 回 調理 1 回 運動 1 回
プログラム終了後のフォローアップ期間 ※プログラム終了後に、効果の継続性の確認や効果測定のために介入群と接触した場合	未定		ヶ月	回
対象とする生活習慣病名	糖尿病、高血圧、高脂血症			
対象年齢層	40 歳 ～ 69 歳（基本健康診査受診時点）			
個別健康支援プログラムの特徴 ※このプログラムを企画した意図やねらい、プログラムの新規性や独自性	①生活習慣病になりにくい食生活を確立し、「栄養のバランスのとれた、カロリーオーバーでない食事をとる」ようになることを目指す。 ②ウォーキングを中心とした運動習慣を得られるよう支援する。 ③動脈硬化度測定及び体脂肪測定（毎回測定） ④食品交換表と食品計量器の配布をして、食事のバランスと摂取量を詳しく習得させる。 ⑤食品成分表と糖尿病食品交換表を基にした栄養価計算のプログラムの開発とそれによる指導			

2. 介入群と対照群の設定状況								
介入群	参加者の性別、年齢		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
		男性	人	7人	14人	55人	人	76人
		女性	人	8人	38人	133人	人	179人
		計	人	15人	52人	188人	人	255人
	参加者の健康保険加入状況	国民健康保険加入者数 ( 255 )人 政府管掌健康保険加入者数 ( )人 組合管掌健康保険加入者数 ( )人						
	脱落者数	転居・死亡・発病 ( 1人) その他 ( 1人)						
	選定基準 ※母集団の設定状況、選定条件(検査値など具体的な情報も含む)	・国保被保険者 ・基本健康診査における検査データが下記にあてはまる者 ・糖尿病 $110 \leq \text{空腹時血糖} < 126$ 、 $130 \leq \text{随時血糖} < 200$ 、 $5.6 \leq \text{HbA1c} < 6.5$ ・高血圧 $140 \leq \text{SBP} < 180$ 、 $90 \leq \text{DBP} < 100$ ・高脂血症 $221 \leq \text{TC} < 260$ ・希望者						
グループ分けの状況(有無・方法) ※同一プログラム参加者の中でのグループ分けの有無と方法	・グループ分け:有 ・方法:開始時期が異なるため 平成 15 年 5 月開始(グループA) 平成 15 年 11 月開始(グループ B)							
ドロップアウト防止のための対策 ※参加者の参加が継続されるために特に工夫したこと	・毎回電話による事前案内の徹底 ・他市町の実施日への受け入れ ・問い合わせに対する FAX 通信 ・参加者の希望日を優先							
対照群	参加者の性別、年齢		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
		男性	人	5人	15人	51人	人	71人
		女性	人	7人	41人	128人	人	176人
		計	人	12人	56人	179人	人	247人
	参加者の健康保険加入状況	国民健康保険加入者数 ( 247)人 政府管掌健康保険加入者数 ( )人 組合管掌健康保険加入者数 ( )人						
脱落者数	転居・死亡・発病( 人) その他 ( 1人)							
選定基準 ※母集団の設定状況、選定条件(検査値など具体的な情報も含む)	・介入群の選定基準と同様で介入群と性、年齢、BMI でランダムにマッチングした。							





3. 個別健康支援プログラムの具体的内容(続き)									
プログラムの 内容・方法	実施方法	実施方法		実施回数 ※実施回数 を記入	内容※実施した内容に○				
					運動	食事	その他		
		講義(情報提供)				9回	○	○	○
		面接指導				7回	○	○	○
		通信指導	手紙・電話			随時	○	○	○
			メール等 IT			回			
		実技指導				1回	○		
		グループワーク				回			
		個人メニュー作成 ※プログラムの中で参加者個人個人に対しての目標設定等				/			
		ヘルスアップ通信の発行				3回	○	○	○
				回					
				回					
自己管理表 の使用状況 ※自宅等における 生活習慣の自己管理 を促すために使用 した記録表等のこと	自己管理内容		管理表等の 使用の有無 ※使用:○ 使用せず:x		指導者による確認状況 ※毎回確認:◎ 時々確認:○ 確認せず:x				
	体重		○		◎				
	歩数		○		◎				
	食事内容		○		◎				
	血圧		○		○				

4. 対照群に対して行った保健事業				
対照群に対して行った保健事業	内容 ※あてはまるもの すべてに○	特になし(情報提供のみ)		
		結果説明会		
		他の保健事業利用の紹介		
		その他(お知らせ 検診結果の説明 )		○

5. 個別健康支援プログラムの効果と課題	
<p>評価指標以外でみられた効果                      ※評価指標上の効果としては現れていないが、それ以外にプログラムの効果としてみられたもの</p>	<p>①主食は、開始時に比べて6ヵ月後は、摂取カロリーが減少している。                      ②油脂は、開始時に比べて6ヵ月後は、22%減少して(0.9単位)になった。                      ③食物繊維は、開始時に比べて増加しているが目標値に対しては、不足している。                      ④体脂肪率は、開始時4ヶ月間は、減少していたが10月は、祭りなど行事に影響されたようである。</p>
<p>問題点や課題                      ※プログラムの実施にあたって問題点として把握されたこと、これからの課題として捉えられたこと</p>	<p>①果物は、季節に変動されやすいので、時期に応じた指導が必要である。                      ②健康講演会の参加者が少なかったのは、別に日をもうけたのと、地元のドクターだったので、聞きなれているためだと思われる。                      ③運動指導士が実務者メンバーに不在なので指導がゆきとどかない。</p>

個別健康支援プログラムの具体的内容

回数 (所要時間)	プログラム開始からの期間	スタッフ(人数)	内容	所要時間	会場
1回目 (第1回集団指導) (2時間)	1日目	<内部> 医師(1) 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2) 1市4町保健師(4) <外部> 臨床検査技師(1)	・健康度指標アンケートの聞き取り、回収 ・採血(血液検査) ・PWV(測定) ・InBody(測定) ・歩幅測定 ・万歩計の設定、説明 ・医師による專業説明 ・栄養士による香川県食生活指針の説明 ・保健師による生活記録、食事の記入説明	10分 30分 20分 30分 20分 10分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
2回目 (第1回個別指導) (1時間)	1ヶ月目	<内部> 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 ①PWVとInBodyの測定、説明 ②集団指導の検査データの説明 ③運動指導(万歩計のチェック、運動量及び運動方法の評価と指導) ④健康度アンケートのチェック ⑤今後の指導内容の説明(資料配布) 栄養士 ①持参した食事記録を入力し、栄養価計算により結果説明 ②高血圧、高脂血症、糖尿病の個別対応の食事指導(資料配布) ③次回の予約	30分 30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
3回目 (第2回個別指導) (1時間)	2ヶ月目	<内部> 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 ①PWVとInBodyの測定、説明 ②運動指導(万歩計のチェック、運動量及び運動方法の評価と指導) ③健康度アンケートのチェック ④生活状況(ストレス、睡眠、休養)の確認と支援 栄養士 ①持参した食事記録を入力し、栄養価計算により結果説明 ②高血圧、高脂血症、糖尿病の個別対応の食事指導(資料配布) ③次回の予約	30分 30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
4回目 (第3回個別指導) (1時間)	3ヶ月目	<内部> 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第2回個別指導と同じ  栄養士 第2回個別指導と同じ	30分 30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
5回目 (第4回個別指導) (1時間)	4ヶ月目	<内部> 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第2回個別指導と同じ  栄養士 第2回個別指導と同じ	30分 30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
6回目 (第5回個別指導) (1時間)	5ヶ月目	<内部> 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第2回個別指導と同じ  栄養士 第2回個別指導と同じ	30分 30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
7回目 (第2回集団指導) (3時間10分)	6ヶ月目	<内部> 医師(1) 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2) 1市4町保健師(4) <外部> 臨床検査技師(1) 医師(1) 理学療法士(1)	・健康度指標アンケートの聞き取り、回収 ・採血(血液検査) ・PWV(測定) ・InBody(測定) ・理学療法士による運動療法の指導 ・医師による健康講演会	10分 30分 60分 90分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A

個別健康支援プログラムの具体的内容

回数 (所要時間)	プログラム開始から の期間	スタッフ(人数)	内容	所要時間	会場
8回目 (第6回個別指導) (1時間)	8~9ヶ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第1回個別指導と同じ	30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			栄養士 第1回個別指導と同じ	30分	観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
9回目 (第7回個別指導) (1時間)	10~11ヶ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第2回個別指導と同じ	30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			栄養士 第2回個別指導と同じ	30分	観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
10回目 (第3回集団指導) (1時間40分)	12ヵ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2) 1市4町保健師 〈外部〉 臨床検査技師(1) 運動指導士(2) うちエアロビクス(1) うちウォーキング(1)	・健康度指標アンケートの聞き取り、回収 ・採血(血液検査) ・PWV(測定) ・InBody(測定) ・運動指導士による初心者向けエアロビクス	10分 } 30分 60分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			・運動指導士によるウォーキング実技	150分	観音寺市保健センター 観音寺市 A
11回目 (第8回個別指導) (1時間)	13ヶ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第1回個別指導と同じ	30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			栄養士 第1回個別指導と同じ	30分	観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
(第1回調理実習) (3時間)	14ヶ月目	〈内部〉 栄養士(2) 〈外部〉 ヘルスマイト(2)	・栄養士による調理実習	180分	観音寺市保健センター 財田町保健福祉支援センター 観音寺市 A 財田町 A
12回目 (第9回個別指導) (1時間)	15ヶ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第2回個別指導と同じ	30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			栄養士 第2回個別指導と同じ	30分	観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
(第1回調理実習) (3時間)	16ヶ月目	〈内部〉 栄養士(2) 〈外部〉 ヘルスマイト(2)	・栄養士による調理実習	180分	大野原町いきいきセンター 大野原町 A
13回目 (第10回個別指導) (1時間)	17ヶ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師 第9回個別指導と同じ	30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター
			栄養士 第9回個別指導と同じ	30分	観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A

## 個別健康支援プログラムの具体的内容

回数 (所要時間)	プログラム開始から の期間	スタッフ(人数)	内容	所要時間	会場
14回目 (第4回集団指導) (1時間40分)	18ヵ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2) 1市4町保健師 〈外部〉 臨床検査技師(1) 運動指導士(2) うちエアロビクス(1)	・健康度指標アンケートの聞き取り、回収 ・採血(血液検査) ・PWV(測定) ・InBody(測定) ・運動指導士によるステップアップエアロビクス	10分 } 30分 60分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
(第1回運動実技指導) (2時間30分)		うちウォーキング(1)	・運動指導士によるウォーキング実技	150分	大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  大野原町 A 財田町 A
15回目 (第11回個別指導) (1時間)	20ヵ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師  第1回個別指導と同じ  栄養士  第1回個別指導と同じ	30分  30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
16回目 (第12回個別指導) (1時間)	22ヵ月目	〈内部〉 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2)	看護師・保健師  第2回個別指導と同じ  栄養士  第2回個別指導と同じ	30分  30分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A
17回目 (第5回集団指導) (1時間40分)	24ヵ月目	〈内部〉 医師(1) 看護師(1) 保健師(1) 栄養士(2) 1市4町保健師(4) 〈外部〉 臨床検査技師(1)	・健康度指標アンケートの聞き取り、回収 ・採血(血液検査) ・PWV(測定) ・InBody(測定) ・医師による総括	10分 } 30分 60分	観音寺市保健センター 大野原町いきいきセンター 財田町保健福祉支援センター  観音寺市 A 大野原町 A 財田町 A

国保ヘルスアップモデル事業  
—平成 15 年度実績報告調書 C 票—

【平成 15 年度から平成 16 年度にかけての変更点】

1. 事業全体について			
	15 年度	16 年度	変更理由
実施体制			
個別健康支援 プログラムの コース設定			

2. 個々の個別健康支援プログラムについて			
	15 年度	16 年度	変更理由
プログラム提供体制			
対象とする疾病			
対象者の属性			
対象者の選定基準			
参加者人数			
個別健康支援プログラムの内容			